

安達太良山の四季

安達太良山は季節ごとに違う表情を見せてくれます。春の暖かさは山腹に徐々に昇っていき、繊細な新葉や花を咲かせます。最も早く咲く花には、イワナシや仏壇に飾る「瓔珞（ようらく）」という仏具に似ていることから名付けられたウラジロヨウラクと呼ばれるツツジなどがあります。

夏、特に 6 月下旬から 7 月が山の花の最盛期です。数十種類のシャクナゲやツツジが咲き、淡い黄色から鮮やかな深紅まで色とりどりです。サラサドウダンツツジの仲間である釣鐘状の花もよく見られます。標高の高い場所では、ゴゼンタチバナやツマトリソウなどの強い花が岩だらけの地形の中で咲き誇ります。夏にはアサギマダラもやって来て、暖かくて静かな日には、アサギマダラが空を飛び回るのが見られます。

秋は 10 月を通じて山頂から麓までを染めていき、標高の低いところがより濃い色になります。特徴的な 5 本の束で針が生えているゴヨウマツは松ぼっくりを作り、リスが松ぼっくりを食べ終わると、そのかじられた芯が木の下に転がっているのが見られます。安達太良山のトレイル沿いのナナカマドやカエデが鮮やかな赤色に染まり、北側の鉄山の斜面にあるダケカンバの木々が黄金の絨毯を作ります。

冬になると、安達太良山の斜面は真っ白な雪で覆われます。経験豊富な地元ガイドなしでの時期に山に登ることはお勧めできません。また、あだたら山ロープウェイは冬の間閉鎖されていますが、スキーをしにきた多くの観光客が下からの景色を楽しみます。